

青少年健全育成連絡会議 青少年を守るために



活発な意見を交わす皆さん

町教育委員会では、このほど青少年健全育成連絡会議を中央公民館で開きました。

この会議は、町内にある高校、小・中学校、幼稚園、各PTA、ボーイスカウト、ガールスカウト、青少推、子育連少年補導員、明和駐在所、教育委員ら約60人が集まり年2回開催。各関係団体における青少年の健全育成と犯罪から守るための取り組みについて、熱心な意見交換を行いました。

防災ママさん講習会 防災は私たちで



消火訓練を行う皆さん

町婦人消防隊による防災ママさん講習会が、2月4日役場で開かれ、隊員約40人が家庭内の防火やガス器具および消火器の取り扱いなどを学びました。

この講習会は災害発生時の対応技術の向上を図ることが目的で、4・11・18日の3日間を予定。講習会初日の4日は、明和分署消防職員を講師に迎えて、家庭で発生する天ぷら鍋火災時における消火器の取り扱い方などを実習し、万一の時のために備えて防災技術を学びました。

地域のシンボルとして、90年以上にわたり児童の成長を見守ってきた東小学校のスズカケの木。その立ち枯れの進行をくい止め、スズカケを救おうと、昨年10月に東小PTAが中心となり実施したスズカケ募金は、町内外の多くの関係者から目標の80万円を上回る約110万円が寄せられました。



工事後の「スズカケの木」

多くの支援者の協力を得て、スズカケの木を救うために行われた養生工事は、樹木医の熊倉弘さんにより行われ、熊倉さんの診断によると「症状は思った以上に悪く重症ですが、乾燥させ殺菌剤と防水塗装で進行を抑えて、周辺の若い根を大切に育てれば20〜30年ぐらいで回復できるでしょう」

と話していました。養生工事の概要は、腐朽菌（ベッコウ茸菌）に冒されてしまった部位を取り除き乾燥さ

「スズカケの木」の養生工事が完了 みんなの思いスズカケの木に届け

せ、殺菌効果のある薬剤と防水塗料を塗り、菌の繁殖と水の侵入を防ぎ、炭と土を混ぜたものを使って埋め戻していくという手法で進められ、幹の西側半分ほどの根を削り取ったため、高く伸びた枝は短く切り落とされ、穴の開いてしまった幹には樹脂を詰めて水の侵入を防ぐなどの多くの処置を施して養生工事を無事終了しました。



寄附に訪れた皆さん

工事を見守ってきた東小PTA会長の島田貴好さんは「大勢のかたから支援していただいて本当にうれしいです。後は、スズカケの木が復活してくれるのを祈るだけです」と心境を語り、東小校長の島田ミサ江先生は「何とか皆さんの思いがスズカケの木に通

じて元気に立ち直ってほしいです」と話していました。また、1月19日、東小学校PTA役員の皆さんは町長室を訪れ、町で進めていた「スズカケの木養生工事」のために役立ててくださると、スズカケ募金の一部54万円を、町に寄附されました。